

『2026年度 レフェリーの目標と9人制の重点指導項目』

JVA競技普及グループ 審判規則委員会 指導部

1 目標

- (1) 競技規則の精神を理解し、論理的・実践的な知識を習得する。
- (2) 正しい判定をするための眼を養い、そのための基本的な動きや位置取りを研究し、審判技術の向上に努める。
- (3) 多くの経験を通して、強いメンタルと人間性の醸成に努め、よりよいゲームマネジメントに繋げる。
- (4) 試合での的確な判定や講習会等を通して、正しいルールや取り扱いをチームに伝える。

2 重点指導項目

【主 審】

- (1) 最終判定について
 - ・ラリー完了の吹笛をしたときは、自らの判定を頭に置き、副審・線審を確認し、最終判定を行う。責任を持って説明ができるよう、最終判定を行う。
 - ・ハンドシグナルを示す時間が長くなり過ぎる事のないように、テンポ良く、一定のリズムでポイント、反則の種類を明確に示す。
- (2) ハンドリング基準について
 - ・試合を通して一定した判定ができるように講習会等へ積極的に参加して基準の統一を図る。また、大会においてはすべての審判員の判定基準が統一できるように他の審判員の判定基準も確認する。
- (3) 不法な行為について
 - ・参加競技者の不法な行為に対しては、毅然とした態度でルールを適用する。
 - ・最終判定後は、副審と協働してコート内、ベンチの状況を確認し、軽度の不法な行為についても再発を予防するために早い段階で第一段階の警告を与える。
- (4) ブロッカーのボールタッチについて
 - ・相対する選手がネット上でボールに接触した場合、その接触に時間差がないか見極め、複数のブロッカーの場合はどの選手にボールが接触したかも確実に判定する。
- (5) 試合運営について
 - ・第2(第3)セットの試合の再開の場合は、前セットの最後にサービスを行った相手チームの次のサーバーで再開する事を、副審、記録と共に確認する。
 - ・特殊な事情による試合の中断によりノーカウントとなった際は、中断したときのサービスが第1または第2サービスであるかを正確に把握し、再開する。

【副 審】

- (1) 中断の要求について
 - ・選手交代およびセット間の選手交代は、記録員とともに組み合わせを確認する。
 - ・タイムアウト終了後に、選手をコートに戻るよう促す。戻るのが遅れている場合は、早い段階で遅延の罰則を適用する。
- (2) 不法な行為およびベンチコントロールについて
 - ・不法な行為や不当な要求・遅延行為に対するルールを正しく理解し、適切かつスムーズに処置を

行う。

- ・ラリー終了後のネット際での相手選手に対しての言動・ベンチ等での不法な行為があれば主審に伝える。

(3) タッチネットの判定について

- ・アタックヒット後のアタッカーのタッチネットがあることを想定し、ネット付近に目を残す。

(4) ワンタッチの補佐について

- ・主審が補佐を求めた場合のみシグナルを出す。

(5) 試合運営について

- ・第2(第3)セットの試合の再開の場合は、前セットの最後にサービスを行った相手チームの次のサーバーで再開する事を、記録と共に確認して主審と再確認する。
- ・特殊な事情による試合の中断によりノーカウントとなった際は、主審と共に中断したときのサービスが第1または第2サービスであるかを正確に把握する。

【記録員】

(1) 選手交代の組み合わせの確認について

- ・交代できる組み合わせであるか慎重に確認する。

(2) サービス順の誤りの処置について

- ・速やかに処置ができるようにルールを理解し、正しい手順を確実に把握する。

(3) セット開始時のサービスチームの確認について

- ・特に2セット目、3セット目のセット開始時のサービスチームを記録用紙で確実に確認し、副審に伝える。

(4) 記録員としての心構えについて

- ・審判団の一員として正しく試合を進めるよう任務を遂行する。